

# 《 現場レポート 》

工 事 名 : 幌西ほうおん創設事業新築工事

## < 工 事 概 要 >

工 事 名 : 平成 28 年度 幌西ほうおん創設事業新築工事

施 工 : 岩倉建設株式会社

工 期 : 平成 28 年 8 月 23 日 ~ 平成 29 年 3 月 20 日

発 注 者 : 社会福祉法人 札幌報恩会

場 所 : 札幌市中央区南 14 条西 16 丁目 1504-1 他

請 負 額 : ¥411,480,000-

工事事務所長 : 池田 憲史

工事係員 : 田村 優樹 北川 響哉



池田所長



田村社員



北川社員

今回ご紹介する「現場インタビュー」は、本社建築部 池田所長が担当しております「平成 28 年度 幌西ほうおん創設事業新築工事」です。

当工事は障害福祉サービス事業を主とする 3 階建て多機能型事業所の建築工事です。ここの敷地内には昭和天皇が皇太子の時代（大正 13 年 11 月）に植樹された松の木が植えられており、記念碑とともに施設関係者の手で大切に保護されております。



昭和天皇植樹の松の木



記念碑

また当工事発注先の創業者は、真狩村において吹雪で遭難した郵便局員を自分の体で温め続けたという、美談として語り継がれる『忠犬ポチ』がその生涯を閉じた際の飼い主でもあり、今回の工事には「忠犬ポチの石像」を新たに制作する事も含まれております。石像は技術的な面から何と中国で制作されるそうです。更に豆知識として、「ポチ」という名前を聞くと無条件にオス犬かと思ってしまうますが、実はこの忠犬ポチ、メス犬だったそうです(笑) 皆さんご存知でしたか? そんなタメになる深〜い話を池田所長が丁寧に教えて下さいました。



完成予想図



施工状況

『ご苦労様です!』と工事事務所にお邪魔した私たちを迎えてくれたのは、池田所長、田村社員、北川社員でした。暫し雑談の後、インタビューの開始です。

現在の工事進捗率は28%で順調に推移しており、間もなく躯体工事完了の見込みです。

当工事における苦労話としては、近隣で井戸水（飲料用では無いようですが）を使用している住民がいるようで、水質に関する質問や要望事項が多く、その対応に苦慮しているそうです。

次に安全面で注意している点を聞いたところ、作業用足場が大きな通りに隣接しているため飛散物や落下物に気を付ける他、これからの季節は暖房を使用するので防火にも注意が必要との事です。更には住宅街周辺のため騒音や振動を配慮し、敷地の隣が公園で子供たちがたくさん往来するため工事車両の搬出入にも注意しています。

最後に職員間のコミュニケーションについて伺ってみました。池田所長曰く「カセットテープを知らない世代なので、ジェネレーションギャップを感じる（笑）」と話す反面、会話の中でもよく冗談が飛び交っていたり、職員の好みや仕事以外の出来事もよく知っていたり、大変な中でも苦勞を感じさせず若手職員と良くコミュニケーションを取っているなあ～と感じました。



打ち合わせの様子

2016年11月28日(月) 現場取材